

第3学年 社会科（公民的分野） 学習指導案

- 1 主 題 「ネット社会」とつきあう方法
- 2 資 料 名 教科書『中学社会 公民的分野』日本文教出版
- 3 ね ら い
 - ・ 「ネット社会」の利便性と危険性について知る。
 - ・ 「ネット社会」を生きる上で自分自身及び他者の人権を尊重するために必要な態度や技能を理解する。
- 4 人権教育の内容 自分と社会についての認識の啓培 1-(2)-イ
- 5 展 開

	学習活動	指導上の留意点・配慮事項	評価
導入 (5分)	1 身近な「ネット社会」の利便性や危険性について考える。	○ 「X」や「TikTok」など子どもたちが日頃から使っているものを例に出す。プライバシーや個人情報について、それぞれの場面で考えさせるように工夫する。	
	学習課題: ネット社会の広がり、人権とどのような関係があるのだろうか。		
展開 (40分)	2 豪州議会で可決した、16歳未満の子どもにSNS利用を禁止した法案に対し、賛成か反対かを考え、グループで交流する。 3 「ネットとつき合うためのクイズ」をしながら、どこに人権課題があるのか考える。 4 「ネット社会」で自分が加害者にならないようにするために、どのような点に注意すればいいのかを考える。	自分の意見だけでなく、周りの意見もよく聞き尊重するよう声をかける。 クイズについて考えることで、知られたくない情報は個人によって異なることを理解させる。 TikTokやXなどのSNSに悪ふざけ動画を投稿するという対し損害賠償が求められる例もある。また、根拠のない情報（フェイクニュース）がSNS上で拡散し、社会に影響を与えることが多くなっており、情報モラル・情報リテラシーについての問題提起を行いたい。	発言内容、ワークシートの記述から、個人情報を扱ううえでの知識や考察を評価する。 発言内容、ワークシートの記述から、情報モラル・情報リテラシーについての理解・考察が来ていることを評価する。
まとめ (5分)	5 今日の学びのふり返りをタブレットに入力する。	個人情報の流出等で、自分が加害者になる以外にも、「ネット社会」には多くの問題が潜んでおり、自分が被害にあわないようにするための方法を具体的に考えさせる。	ワークシートや発言内容などから、「ネット社会」の問題について理解している事を評価する。